



アガルートアカデミー合格体験記

社会保険労務士試験

令和4年～令和6年合格者

合格体験記

令和6年

社会保険労務士試験合格

講師が言うことを信じて素直にやってみるのが大事

木戸 奏江さん

2024/ 社労士試験 / 入門総合カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：13 か月以上

社会保険労務士試験の受験回数：1 回目

社労士試験を目指した理由・契機

前職で公的な制度に関係するプロジェクトを任されたときに、制度について学んだり、誰かがその制度を利用できるように支援することが自分は好きなのだと気が付きました。制度や法律の知識を身につけて誰かの役に立つ仕事って何かないだろうかと探していたときに、社会保険労務士の資格を知り、受験することにしました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

オンライン講座を活用したいと思い、いくつかの予備校のテキスト見本を取り寄せました。アガルートのテキストが最も情報が多く、試験には出題されないが背景として知っておくと良い情報なども掲載されていて、知的好奇心を刺激されました。

大学受験のときに、学習があまり進んでいない段階では、重要点をまとめた薄い参考書よりも、分厚いテキストの方が勉強していて楽しく、テストの点数も上がった体験があり、アガルートがどこの予備校よりもテキストが分厚いと聞いたのも選んだ理由の一つです。

合格体験記・学習上の工夫

講座の受講申し込みをしたのは受験する前年度の4月中旬でした。しかし、当時は他の資格取得のために専門学校に通っていて、それが思いのほか忙しく基礎講義の動画をたまに聞くぐらいしかできませんでした。本格的に総合講義の動画視聴を始めたのは11月下旬からです。社労士試験の勉強は全くの初めてで、法律の条文を読んだこともありませんでした。基本的には講師の先生方が言うことを素直にやってみると良いかと思います。以下に工夫していたことを記載してみます。

【A判定が一度もなくとも落ち込まない】

他校の公開模擬試験を2回受験しました。6月中旬に受けた1回目の模擬試験ではD判定、受験者の中では上位27%でした。合格可能性は低かったのですが、むしろ初学で本格的に勉強を始めて半年ちょっとでここまで成績を上げられたのだと自信になりました。アガルートの教材を信じていいこと、今までやり続けたことが間違っていなかったことを実感し、そしてこのまま同じことをブレずに続けようと思い決めました。7月中旬に受けた2回目の模擬試験は上位10%まで成績が上がりました。ただ、それでも基準点割れがあり、C判定でした。

1回目の模擬試験も2回目の模擬試験も、基準点割れがあり、直近で勉強していない科目で落としていました。直近で勉強した科目は高得点を取れるものの、勉強してから1ヶ月半以上経つとすっかり忘れてしまい、基準点を割ったり、点数が低くなるのが分かりました。

【勉強の目標は時間ではなくページ数で決める】

そこで最終的には2週間で全科目を1周できるよう、知識の理解度を上げてテキストを1日200ページのペースでサクサク読める状態に持っていかうと決めました。

実際は、白書対策、選択式対策、実力確認答練、模試の復習などに時間が取られてしまい、当初の予定通りには進みませんでした。1日100ページは必ず読むようにしました。

全科目のテキストを4周しようという目標でしたが、実際には3周（労基、労災、雇用は4周）というところで本試験の日を迎えました。

【基本的には講師の言うことを素直に聞く、自己流は覚悟を持って】

3周は少ない方だと思いますが、私は早く読もうとすると頭に入らず、じっくり他の科目の記憶を呼び起こして、自分を試しながら読んだ方が効率的だと思ったので、かなり勇気が要りましたが作戦を変更しました。

基本的に先生方が講義中やホームルームで言っていたことを素直に取り入れていましたが、テキストを何周するかだけは自分の感覚を優先させました。

【自分に合った勉強方法を】

勉強において、いろんなインプット方法がありますが、自分の特性に合ったものを選ぶといいと思います。例えば、耳で聞いた情報か、目で見たと情報か、どちらが情報を習得する上で得意か、ということです。

講義は音声のみダウンロードできますし、何度も講義を聞いて合格したという方も多くいます。ですが、私は耳から入る情報があまり頭に残らず（ラジオを聴くと疲れる）、一方で目で見たと情報は覚えやすいという感覚がありましたので、最初から動画や音声の活用は最低限にして、テキスト読みに重点を置きました。

【社労士試験はマークシート】

また、ノートは作らない、書く勉強をなるべくしない、ということも決めていました。

令和6年 社会保険労務士試験合格

学習の習慣化に成功！講座活用のコツ

森川 喜文さん

2024/ 社労士試験 / 中上級カリキュラム / フル

カリキュラムの学習期間：12か月

社会保険労務士試験の受験回数：2回目

社労士試験を目指した理由・契機

社労士試験を目指した理由は、将来の生活や仕事に対する漠然とした不安があり、難易度の高い資格をとることで1つ人生の武器を得たいと思ったからです。また、身内に身体障害のある者がおり、社労士さんに障害年金の申請をしてもらった経験から自分も社労士の仕事に興味を湧き、目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

勉強1年目の時は別の予備校さんを利用して1年間勉強しましたが、試験本番では見た事もない論点が数多く問われ択一全体の合格点に届かず不合格となりました。そこで2年目は知らない論点を少しでも減らしたいと思い、テキストのカバー率が高く、平均合格率も高いアガルートに決めました。

合格体験記・学習上の工夫

勉強する上では、テキストを読んで問題を解くというパターンを繰り返し勉強していました。仕事をしながらの勉強だったので、勉強時間の確保に苦労しました。仕事終わりは疲れて集中出来ないで、朝方に切り替えて出勤前の2時間を勉強に当てていました。苦手な年金科目は毎日毎日触れる事で苦手意識を克服することに繋がったと思います。

社労士試験では各科目に基準点があるので苦手科目は作れません。ただ得意科目は作って問題ないと思います。

自分は主に労働法は得意だったので、疲れた時やモチベーションが低下した時に労働法、朝の集中出来る時や体力がある日に複雑な社会保険法と分けて勉強もしていました。10科目の中で得意科目(自分をご褒美科目と呼んでました)があれば、苦手な年金科目をなんと

か2時間勉強できたら、その後得意で好きな徴収法や安全衛生法をご褒美として1時間勉強する。みたいに科目ごとに切り替えることで休みの日は長時間勉強することが出来たと思っています。

通勤時間の往復約1時間は、YouTubeの目的条文を聞き流しすることが多かったです。合格した年はまさに選択式試験のとある科目で5点中3点が条文から出題されて、聞き流したおかげでなんとか条文の部分の3点を確保出来て基準点割れを回避できました。

勉強が辛く苦しい時はアガルートの公式YouTubeで、合格者インタビューや合格体験記を読み、自分の合格後の姿を想像してやる気を出していました。

中上級総合講義のご感想・ご利用方法

1年目に他の予備校さんで10科目のある程度の基礎は固めてもらっていたので2年目は全科目をもっと広く、そして深く勉強したいと思い中上級コースにしました。講義はスピーディーかつ深く教えていただきまして、テキストの知識のインプットも過去問などのアウトプットも満遍なく勉強することができたと思います。基礎の固め直しから応用問題、発展問題まで対応することが出来る力をアガルートで身につけることができたと思います。竹田講師が講義される中でテキストの内容の話だけではなく、ご自身がこれまでに働いてこられた経験や体験を講義の中で混ぜて話していただくことにより飽きることなく講義視聴ができました。テキストの中にはアドバンスマークや過去に試験で出題された部分にチェックがありしっかりと勉強するべき所、軽く目を通しておけば良いところなど判断ができました。分厚いテキストで、全部覚えることはかなり難しいのでインプットの際のメリハリになりました。テキストの中の重要ポイントや記憶のフックも暗記に大活躍でした。やる気がどうしても起きない時は、テキストの重要ポイントだけに絞って読むだけでも知識の忘却を防ぐことや理解に繋がると思いました。

選択式集中特訓講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験の選択式試験は基準点があるため、1点がとても重いと身をもって実感しました。その1点で合格する人もいれば不合格になってしまう人もいます。

だからこそ1点を全力で取りに行くための選択式集中特訓講座は本当にありがたかったです。目的条文を理解してしっかりと覚える重要性から、判例問題が出題された時の前後の文脈から選択式を絞って答えを出す方法まで全部が選択式試験突破の為になっていたと、合格して改めて実感しました。また、選択式集中特訓講座のテキスト自体もかなり分厚く問題数が多いため、この1冊を信じて勉強を継続すれば選択式は大丈夫だという実感もありました。選択式試験は基準点割れが怖いので不安からつい色々な教材に手を出したくなりますが、この講座を信じることも大事だと思いました。

科目横断整理講座のご感想・ご利用方法

社会保険労務士試験は科目が多く、届出の日数や専任人数など細かい数字も多いため、勉強すればするほど他の科目とこんがらがってしまうと思います。だからと言って、自分

令和4年 社会保険労務士試験合格

間違えた回数によりマーカーの色を変え、総合講義に戻り復習した

西脇 安希子さん

2022 速習カリキュラム

カリキュラムの学習期間：8か月

社労士試験の受験回数：5回目以上

社労士試験を目指した理由・契機

行政書士の資格を取得していましたが、ダブルライセンスで社会保険労務士の資格を持ちたいと思い、合格を目指しました。ダブルライセンスと考えた時に仕事として、経験していたこともあり、仕事にも役立つのではないかと思い資格取得を目指しました。

アガルートアカデミーの講座を受講しようと思ったきっかけ

勉強開始が遅かったため、速習講座で効率的に勉強出来そうでしたし、速習講座で、基本講義、法改正、白書講座、模試と全てがそろっていたことが一番の理由です。また、速習講座でも、通常の講座と同じテキストが使用できること、受講費用についてもとてもお値打ちだと思い受講しました。

合格体験記・学習上の工夫

まず、最初に繰り返すことが重要だとお聞きし、基本事項をきちんとマスターするためにも、繰り返すための、スケジュール作りをしました。

全ての科目、勉強を最低3回は繰り返すようにスケジュールをたてました。

1回目が講義を聴いて、演習問題をすること。

2回目が、過去問を問いていくこと。

3回目も、過去問を問いていくこととしました。

私は勉強開始が遅かったのですが、最後の2週間は総復習の時間とすることとして予定を組みました。

また、法改正・白書の講義の配信日には、講義を聴けるスケジュールをたてました。そ

して、このスケジュールはこまめに組み替え、出来る限り、問題を解く時間を増やすようにしました。

そして、理解出来ていないことを明確にし、知識がきちんと定着するように、理解度の目安として蛍光ペンを使いました。

1回目は、重要事項については、黄色の蛍光ペンを使いました。

演習問題での、間違いはピンクのマーカーをしました。

2回目は、過去問を全て解くこととし、問題の解説を読んでも分からないところのみ、テキストにもどり、ピンクのマーカーで印をつけ復習しました。

すでに、ピンクのマーカーがついている部分は、濃いピンクにしました。

3回目は、過去問2回目なので、間違えた箇所については、テキストに戻り、再度復習しました。

幸い、スケジュール管理がうまくいき、4回目も出来ましたので、濃いピンクの箇所を間違えた場合は、ルーズリーフに科目毎に分け、間違えたところを記入していきました。法改正事項の間違いは、重要事項なので、ピンクの部分でも記入して、復習として使えるようにもしました。

また、間違いの原因が分かる場合には、その部分も記入しました。他の科目との勘違いなどの場合、比較としてその旨を記入し、意識付けるようにしました。このように理解出来てない事項を中心に勉強するようにしました。

最後の2週間は、総復習として、ピンクのマーカーを中心に全教科テキストを読みました。法改正、白書については、演習問題も再度解きました。

そして、一番苦手としての厚生年金法については、過去問をもう一度解きました。このように、記憶の定着と、基本事項のマスターを速習で勉強することが出来、全ての科目を勉強することが出来ました。

法改正対策講座のご感想

法改正対策講座のテキストは、思った以上にボリュームがあり正直驚きました。法改正の趣旨、概要も載せてあり、このような背景があることにより分かりやすく覚えることが出来たと思います。また、削除事項を記載していただくことにより削除された部分の確認が出来たこともよかったです。

また、講義では、再受験者へのコメントもして下さり、注意深く確認することが出来たので良かったです。

また、目次も見やすく作られており、復習する際には、検索するときとても役立ちました。

演習問題もついておりましたので、最後の復習にはとても役立ちました。

こちらは、とても重要な事項ですので、4回繰り返し、最低でもこの部分は確実にとけるようにしました。